

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、毎年取締役会の実効性評価を実施しております。各取締役から示された評価や意見を取りまとめ、取締役会全体が適切に機能しているか検証するとともに、認識された課題について改善状況を継続的に検証し、実効性の持続的な向上を図るものです。

2024年度の実効性評価結果の概要について以下の通り開示いたします。

1 評価の方法

- (1) 各取締役にアンケートを配布し、無記名の回答を得る方法（全51問）
- (2) 独立社外取締役7名、及び社内取締役3名を対象に個別インタビューする方法（各1時間程度）
- (3) 上記(1)、(2)の実施に関し外部第三者機関を起用
- (4) アンケート及びインタビュー結果を基に、取締役会においてディスカッション
- (5) アンケートの主な内容
 - ・ 取締役会のあり方
 - ・ 取締役会の構成
 - ・ 取締役会の運営
 - ・ 取締役会の議論
 - ・ 取締役会のモニタリング機能
 - ・ （監査等委員以外の）社内取締役のパフォーマンス
 - ・ 社外取締役のパフォーマンス
 - ・ 取締役に対する支援体制
 - ・ トレーニング
 - ・ 株主(投資家)との対話
 - ・ 役員自身の取組み
 - ・ 指名委員会・報酬委員会の運営

2 分析・評価結果の概要

総じて、取締役会は実効的に機能していることが確認できましたが、次の観点で、改善のための行動が必要であると評価しました。

- ・ 取締役会において、中長期的な経営戦略・経営課題等の大局的な議論の比重を拡大、モニタリング・ボードとしての機能を強化すること。

3 分析及び評価を踏まえた今後の課題及びその対応

取締役会内外でのフリー・ディスカッション等の機会も活用し、中長期的な経営戦略・経営課題等の大局的な議論の比重を拡大することで、モニタリング・ボードとしての機能強化を図る。

以上